平成24年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月27日

上場会社名　日本化薬株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4272　URL　http://www.nipponkayaku.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 萬代　晃
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　グループ経理本部経理部長　(氏名) 下山　政行　TEL 03-3237-5270
四半期報告書提出予定日　平成24年4月6日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第3四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第3四半期	107,712	△3.0	13,665	△13.9	13,946	△7.0	8,106	9.3
23年5月期第3四半期	111,020	6.9	15,870	35.7	14,989	29.0	7,417	2.7

(注)包括利益　24年5月期第3四半期　7,417百万円　(7.0%)　23年5月期第3四半期　6,932百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第3四半期	44.71	44.67
23年5月期第3四半期	40.89	40.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第3四半期	202,209	139,484	64.7
23年5月期	205,110	135,796	62.3

(参考) 自己資本　24年5月期第3四半期　130,914百万円　23年5月期　127,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	―	10.00	―	10.00	20.00
24年5月期	―	10.00	―		
24年5月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,000	2.8	20,500	△1.6	20,500	1.1	11,000	△15.4	60.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期3Q	182,503,570 株	23年5月期	182,503,570 株
② 期末自己株式数	24年5月期3Q	1,209,428 株	23年5月期	1,182,975 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期3Q	181,306,502 株	23年5月期3Q	181,387,614 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・２
(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・２
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・３
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・３
２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・３
(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・３
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・３
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・３
(4)　追加情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要・・・・・・・・・・・３
４．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
(1)　四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・６
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
(3)　継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・８
(4)　セグメント情報等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・８

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成23年６月１日から平成24年２月29日まで）の世界経済は、欧州の財政危機による景気後退や、堅調を維持していた中国をはじめとする新興国における成長の鈍化など、不透明な状況で推移しました。また、日本経済は、東日本大震災の影響による生産活動停滞から緩やかに持ち直しているものの、タイの洪水による影響や歴史的な円高等による厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは３ヵ年からなる中期事業計画Phase Ⅰに沿って、重点事業への経営資源の最適配分、海外展開の強化に加え、収益体質の強化を目指し、一層のコストダウンの推進、販売品目の整理等に取り組みました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、機能化学品事業、医薬事業が前年同四半期を下回ったことなどにより、1,077億１千２百万円と前年同四半期に比べ33億８百万円（3.0%）減少しました。

営業利益は、売上高の減少と医薬事業の研究開発費が増加したことにより、136億６千５百万円と前年同四半期に比べ22億５百万円（13.9%）減少しました。

経常利益は、前年同四半期に比べ営業外費用が減少しましたが、139億４千６百万円と前年同四半期に比べ10億４千３百万円（7.0%）減少しました。

四半期純利益は、81億６百万円と前年同四半期に比べ６億８千８百万円（9.3%）増加しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

【機能化学品事業】

機能性材料事業は、半導体封止材用エポキシ樹脂並びに紫外線硬化樹脂が顧客生産調整や長引く市況低迷の影響を受け前年同四半期を下回り、機能性材料事業全体でも前年同四半期を下回りました。

電子情報材料事業は、インクジェットプリンター用色素が前年同四半期を上回りましたが、光ディスク用樹脂が前年同四半期を下回りました。ポラテクノグループは海外向け偏光フィルムの低迷などで前年同四半期を下回りました。結果として電子情報材料事業全体では前年同四半期を下回りました。

触媒事業は、アクリル酸製造用触媒が前年同四半期を下回りましたが、メタクリル酸製造用触媒が好調に推移し、触媒事業全体では前年同四半期を上回りました。

色材事業は、紙用染料が低迷し前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は497億３千７百万円（前年同四半期比6.5%減）、セグメント利益は77億４千３百万円（前年同四半期比14.3%減）となりました。

【医薬事業】

国内向け製剤の抗がん剤は、昨年２月に卵巣癌の適応を拡大した「ハイカムチン注射用」が大きく伸長、「動注用アイエーコール」、「パクリタキセル注NK」、「ビカルタミド錠NK」も堅調に推移し、前年同四半期を上回り、「ランダ注」、「ピノルビン注射用」等が競合品等の影響により、前年同四半期を下回りました。国内向け製剤全体では前年同四半期を下回りました。

輸出は、ブレオ類（抗がん剤）が前年同四半期を上回り、輸出全体でも前年同四半期を上回りました。

国内向け原薬は、医薬品原料が前年同四半期を下回り、国内向け原薬全体で前年同四半期を下回りました。

診断薬は前年同四半期を上回りました。

この結果、売上高は361億５千６百万円（前年同四半期比2.2%減）、セグメント利益は67億４千万円（前年同四半期比12.5%減）となりました。

【セイフティシステムズ事業】

東日本大震災に加え、タイの洪水による影響を受け、厳しい市況環境でありましたが、秋以降に本格化した自動車挽回生産による需要拡大によりエアバッグ用インフレータは前年同四半期を上回りました。シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータは前年同四半期並みに推移しました。

この結果、売上高は149億５千９百万円（前年同四半期比7.6%増）、セグメント利益は17億７千２百万円（前年同四半期比76.0%増）となりました。

【その他】

アグロ事業は、国内は前年同四半期を下回り、輸出は前年同四半期を上回り、事業全体では前年同四半期を下回りました。

不動産事業他は前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は68億５千８百万円（前年同四半期比1.1%減）、セグメント利益は15億２千８百万円（前年同四半期比16.7%減）となりました。

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

総資産は2,022億９百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億円減少しました。主な減少は受取手形及び売掛金24億９千６百万円、有価証券59億５百万円であり、主な増加は棚卸資産22億６千万円、投資有価証券18億５百万円であります。

負債は627億２千５百万円となり、前連結会計年度末に比べ65億８千７百万円減少しました。主な減少は借入金33億９千８百万円、支払手形及び買掛金10億１千万円、退職給付引当金10億１千万円であり、主な増加は未払法人税等９億８千１百万円であります。

純資産は1,394億８千４百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億８千７百万円増加しました。主な増加は四半期純利益81億６百万円であり、主な減少は配当金の支払36億２千６百万円であります。

(3)　連結業績予想に関する定性的情報

今後の当社グループを取り巻く経営環境は東日本大震災の影響による厳しい状況から回復する動きがあるものの、円高定着による国内企業への悪影響や金融不安などによる世界的な景気の減速懸念で依然として先行きが不透明な状況が続くものと思われます。当社グループは事業環境の変化に対応できる強固な収益体質を構築するとともに、環境・省エネルギー関連材料や医薬バイオシミラーの研究開発の促進など新たな成長市場への展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、通期の業績予想につきましては、平成23年12月26日に公表いたしました予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号　平成22年６月30日）及び「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号　平成22年６月30日）を適用しております。

潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これによる潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額への影響はありません。

(4)　追加情報

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
(1)　四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年５月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年２月29日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,427	18,936
受取手形及び売掛金	46,945	44,449
有価証券	22,998	17,092
商品及び製品	15,515	17,818
仕掛品	2,088	1,953
原材料及び貯蔵品	7,043	7,135
その他	10,150	10,388
貸倒引当金	△36	△46
流動資産合計	123,132	117,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,372	32,707
機械装置及び運搬具（純額）	14,632	15,607
その他（純額）	14,548	12,692
有形固定資産合計	60,553	61,006
無形固定資産		
のれん	1,423	1,735
その他	2,248	2,699
無形固定資産合計	3,671	4,435
投資その他の資産		
投資有価証券	13,323	15,128
その他	4,216	3,791
貸倒引当金	△88	△88
投資その他の資産合計	17,451	18,831
固定資産合計	81,676	84,273
繰延資産	301	208
資産合計	205,110	202,209
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,262	13,251
短期借入金	10,917	9,769
未払法人税等	1,633	2,614
その他	14,080	12,829
流動負債合計	40,893	38,464
固定負債		
長期借入金	11,143	8,893
退職給付引当金	3,421	2,410
負ののれん	490	376
その他	13,364	12,580
固定負債合計	28,419	24,260
負債合計	69,313	62,725

	前連結会計年度 (平成23年５月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成24年２月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,265	17,265
利益剰余金	97,990	102,470
自己株式	△797	△817
株主資本合計	129,391	133,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131	572
為替換算調整勘定	△1,769	△3,508
その他の包括利益累計額合計	△1,638	△2,935
少数株主持分	8,044	8,569
純資産合計	135,796	139,484
負債純資産合計	205,110	202,209

(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年６月１日 至　平成23年２月28日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成24年２月29日）
売上高	111,020	107,712
売上原価	66,065	62,334
売上総利益	44,955	45,377
販売費及び一般管理費	29,085	31,712
営業利益	15,870	13,665
営業外収益		
受取利息	68	62
受取配当金	289	305
負ののれん償却額	114	114
持分法による投資利益	188	133
その他	884	637
営業外収益合計	1,545	1,253
営業外費用		
支払利息	270	226
為替差損	1,657	368
その他	499	377
営業外費用合計	2,427	972
経常利益	14,989	13,946
特別利益		
固定資産売却益	18	39
関係会社株式売却益	－	1
特別利益合計	18	41
特別損失		
固定資産処分損	442	378
投資有価証券評価損	128	12
環境対策費用	－	321
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	68	－
関係会社整理損	210	－
特別損失合計	850	712
税金等調整前四半期純利益	14,157	13,275
法人税、住民税及び事業税	1,702	4,300
法人税等調整額	4,395	136
法人税等合計	6,097	4,437
少数株主損益調整前四半期純利益	8,059	8,837
少数株主利益	642	731
四半期純利益	7,417	8,106

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年６月１日 至　平成23年２月28日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成24年２月29日）
少数株主損益調整前四半期純利益	8,059	8,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	394	440
為替換算調整勘定	△1,521	△1,861
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△1,127	△1,420
四半期包括利益	6,932	7,417
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,547	6,808
少数株主に係る四半期包括利益	385	608

(3)　継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)　セグメント情報等

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成22年６月１日　至　平成23年２月28日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	機能化学品事業	医薬事業	セイフティシステムズ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,219	36,959	13,906	104,084	6,935	111,020	－	111,020
セグメント間の内部売上高又は振替高	24	22	－	47	20	68	△68	－
計	53,244	36,981	13,906	104,132	6,956	111,089	△68	111,020
セグメント利益	9,034	7,706	1,007	17,747	1,835	19,583	△3,712	15,870

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△3,712百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,726百万円、セグメント間取引消去13百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年６月１日　至　平成24年２月29日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	機能化学品事業	医薬事業	セイフティシステムズ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	49,737	36,156	14,959	100,854	6,858	107,712	－	107,712
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	2	－	6	24	31	△31	－
計	49,742	36,159	14,959	100,860	6,883	107,744	△31	107,712
セグメント利益	7,743	6,740	1,772	16,256	1,528	17,785	△4,119	13,665

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△4,119百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,134百万円、セグメント間取引消去14百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。